

協 議：県教委の県立高校臨時休業設定方針を受けての本市の方針について
(いずれも承認)

3. 教育長の報告

(1) 令和2年3月定例会市議会一般質問概要について

(妹尾教育長) 教育次長から説明をお願いする。

(藤原教育次長) 資料により説明

(野田委員) 他市からの視察の受け入れが大変多いとあるが、どういった内容か。

(社会教育課長) 商業施設と一緒にになった図書館ということで、利用状況や商業施設に入っていることによる効果などに興味を持たれたところからの視察が多かった。

(野田委員) きらぼしアート展は玉野市ではどこが所管しているのか。

(社会教育課長) 山陽新聞が主催ではあるが、文化芸術という観点から社会教育課と福祉部門では福祉政策課、開催場所の関係では商工観光課が、合同で開催準備や受付等を実施している。

(野田委員) 私も見に行ったが、建物の中に入らないと実施していることがわからない。せっかく実施しているのであれば、建物の外へ開催中であることがわかる表示をしてはどうかと思う。瀬戸内国際芸術祭の期間中でもあったので、他の言語での表示もあれば良かったと思う。

(妹尾委員) 学校サポートスタッフ等の配置について、平成31年度と同じ29名体制ということであるが、以前サポートスタッフの方と懇談会を行ったときに、人手が足りないという話をされていたように思うが、そのあたりを配慮した体制なのか。

(学校教育課長) 学校の要望としては40から50名の人数があがってくるが、要望の内容を見てこの人数で対応可能だと考えている。学校サポートスタッフは、非常勤講師や加配教員などの人員配置も考慮して配置している。

(妹尾委員) もしかするとこの夏休みも授業を行わなければいけないのではないかと考えているが、エアコンは夏休みまでに少しずつでも設置が増えるということはあるか。

(教育総務課長) 都市計画課に工事の執行依頼をかけているので連絡を取りながらということになる。どうしても入札の告示をしてから一定期間あけなければいけないということもある。可能な限り急いで欲しいとはお願いしているが、夏休み前に完了するというのは難しいのではないかと考えている。

4. 議 事

(1) 議案第12号 玉野市公民館運営審議会委員の委嘱について

(社会教育課長) 資料により説明

(2) 議案第13号 玉野市立図書館協議会委員の任命について

(社会教育課長) 資料により説明

(3) 議案第14号 玉野市スポーツ推進委員の委嘱(追加)について

(社会教育課長) 資料により説明

(いずれも承認)

5. 協 議

(1) 令和2年度玉野市教育行政重点施策について(初稿)

(各課長) 資料により説明

あと2回ご確認いただき、7月1日付で発行予定である。

(野田委員) (P4)「就学前教育保育」から「教育保育」が削除されて「就学前園」としているが、後の文章でも「教育保育」をいう言葉が出てくる。削除してよいのか。

(学校教育課長) 玉野市全体のことであると、「教育」と「保育」があるので、「教育保育」を行っているとなるが、一貫教育についてのことについては、「就学前園と義務教育」という言葉にさせてもらった。

(妹尾教育長) 校種を列挙して一貫教育とするとわかりやすくなるのではないのか。

(野田委員) (P4)「小中学校学力人間力育成事業」から「小中学校管理運営事業」と変わっているが「学力人間力育成事業」の方がわかりやすいのではないのか。

- (学校教育課長) 今まで非常勤講師の配置に関する予算は様々な事業に分かれており煩雑になっていた。会計年度任用職員制度への移行に伴い、予算を一本化した。
- (野田委員) (P6) 教育委員会内統括コーディネーターというのは誰がするのか。
- (社会教育課長) 職員がするようになるが、社会教育課は森本主事を想定している。
- (野田委員) (P18) 健康教育の推進と充実の部分に、「がん教育」というのを加えたほうがよいのではないか。
- (妹尾教育長) ③の部分に付け加える。
- (野田委員) (P25) 「幼児教育推進体制の充実・活用強化事業」の部分の説明がわかりにくいように思う。
- (就学前教育課長) 推敲する。
- (妹尾委員) (P13) 望ましい通級指導教室の設置を「推進」から「検討」に変えた理由は何か。減らすことも想定しているのか。
- (学校教育課長) 中学校に関しての記述であるが、中学校は今は設置していない。学校教育課としては設置したいと考えておりここ数年各校に働きかけを行っているが、中学校は必要でないとのことである。
- (妹尾委員) ニーズがないのか。
- (学校教育課長) 中学生という多感な時期にあるため通級の実施には難しいこともある。保護者からの設置ニーズもないと聞いている。
- (妹尾委員) (P13) 商工高校の教育内容の充実の部分に付け加えて、周知や広報にも触れた方が良いと考える。小学校や中学校に高校生が出向いて学校紹介などをやっているということも聞く。入学希望者の増加にもつながるのではないか。
- (学校教育課長) 追加修正する。
- (妹尾委員) S D G s について記載してはどうか。
- (学校教育課長) 必要なことであると考えているが、S D G s のためにということではなく、それぞれの教育活動の中でそれぞれの視点で取り組んでいる。本市においては一番大切なのはキャリア教育だということの意味統一が出来ており、現状では記載していない。
- (妹尾教育長) これからの教育のキーワードとなると思うので、15ページの「指導内容などの工夫・改善」の中に1項目おこして記載してみたい。

(2) 令和2年度教育委員懇談会実施計画(案)について

- (教育総務課長) 資料により説明
今年度は1学期の実施は行わない。
昨年と同様、委員の希望を伺って調整していきたい。次回、希望を伺いたいと考えている。
- (妹尾教育長) こんな人の話を聞いて懇談をしてみたいなどを次回聞かせて欲しい。

(3) 令和2年度教育委員による学校等視察の開始延期について(案)

- (教育総務課長) 資料により説明
状況が好転したら新任校長の学校を中心に可能な限り実施したい。
- (妹尾教育長) 緊急事態宣言がいつ解除されるかわからないが、その時点で改めて提案するということでよいか。
- (各委員) 異議なし。

6. その他

(1) 玉野市立玉野商工高等学校の募集定員について

- (学校教育課長) 資料により説明
(玉野商工高等学校長) 資料により説明
- (野田委員) 40人学級とか35人学級などの学級の人数は市で決めることができるのか。文科省は関係ないのか。
- (学校教育課長) 法律上、高等学校は募集定員で教員の定数が決まっている。募集定員に対する運用は基本的に学校に任せられるところがある。どういう学級に振り分けるかはある程度学校で決めることができる。
- (野田委員) クラス数に対して教員定数が決まるのかと思っていたが募集定員で教員数が決まるのか。
- (学校教育課長) そうである。義務教育とは考え方が異なる。
- (玉野商工高等学校長) 実際、県立高校でも30人学級や35人学級のところがある。
- (太宰委員) 市内からと市外からと通う生徒の割合はどうなっているか。
- (玉野商工高等学校長) 3学年全体でいうと6割強が市内から通う生徒である。その比率は減ってきている。今から5、6年前くらいは7割ぐらいを

占めていた。

(加藤委員) 生徒数の推移から機械科の生徒が今後増える予測はどうか。
(玉野商工高等学校長) 3年生の就職状況にもよると考えている。今の3年生の昨年度のアンケートによると多くは就職したいと考えている。この生徒達がどこに就職して行くかというのが影響してくると考えている。

(加藤委員) 削減したほうがよいと思うが、30人4クラスにするというのであれば、1クラスしかない機械科も30人となる。学びたい生徒が入れないのは非常に残念であるが、適正数で進めて良いと思っている。

(妹尾教育長) 次回の教育委員会で協議したいと考えている。意見をまとめておいていただきたい。

(2) 重要課題に関する担当委員について

(妹尾教育長) 資料により説明
1人2件か3件の割り当てとなる。次回決めたいので候補を考えておいて欲しい。

(3) 第4次玉野市子ども読書活動推進計画の策定について

(社会教育課長) 資料により説明
(妹尾教育長) 素案が出来たらご意見をいただきたい。

(4) 令和2年 5月／6月 月間行事予定について

(教育総務課長) 資料により説明。
7月21日と8月25日の教育委員会の開催について、グロスターホームステイの壮行式と報告会に合わせて11時からの開始していたが、中止となったため、定例の14時開始とさせてもらってよいか。

(各委員) 異議なし。

(5) 令和2年4月22日からの第2次学校園長期臨時休業実施に対する学校園再開等について

(学校教育課長) 資料により説明

(野田委員) 再開したとして、5月15日までは午前中の授業でもよいと思うが、その後は通常どおりでよいと考える。

- (学校教育課長) あくまで緊急事態宣言が継続している中でどうかという案である。情報によると岡山市も午前中のみの登校を続けると聞いている。倉敷市は分散登校を続ける予定である。緊急事態宣言の出ている中で、本市がどんな対策を取っているかと問われて何もしていないというのでもどうかと考える。
- (野田委員) 午前中だけで接触時間が少なくなるとは考えにくい。
- (妹尾教育長) 高学年は午後の2時間短くなることで接触は少なくなると考える。
- (野田委員) 7月の暑い時に7月31日まで授業をやるよりも、5月にやっておいたほうがよいと思うが。
- (加藤委員) 連休明けの状況を見て考える、となっているので、提案のとおりでよいと思っている。
- (太宰委員) 5月7日から学校を再開した場合、午前中だけの授業をするということでも7月末まで授業を行えば遅れを取り戻せるということではどうか。
- (学校教育課長) 新たなことがない限り、計算上はそうなる。
- (妹尾教育長) 国・県の方針が決まった時に臨時教育委員会の開催はしたほうがよいか。これらの条件の中でよいということであれば報告をさせてもらう。
- (妹尾委員) 今回に関しては、このパターンで考えてもらって、報告があればよいと思う。
- (加藤委員) 私もそれでよいと思う。学校の勉強の進み具合でなく子どもたちや勤務している人たちの命が一番大事である。少しオーバーでも安全安心で対応いただきたい。
- (妹尾教育長) それでは決定後、報告をさせてもらう。
- (野田委員) 教員の研修会についてはどうなるか。全て中止となるのか。
- (学校教育課長) 全て中止である。
- (野田委員) 非常勤講師の収入はどうなるのか。
- (学校教育課長) 夏休み中の授業実施も想定されるので、出来れば今は勤務せず後へ回してもらいたいと思っているが、給料保障というところもあるため、校長が本人と話しをして、無収入になることが困るということであれば、学校に来て仕事をしてもらっている。
- (野田委員) 年間で授業時間は確保できるのか。
- (学校教育課長) 必ずやっていただくように伝えている。
- (野田委員) 年間の給料は同じくらいもらえるのか。

(学校教育課長) 年間を通しての給料は変わらない。

次回、教育委員会は令和2年5月12日(火) 14:00から第1委員会室で開催するので参集願います。以上で、第8回教育委員会を閉会します。

会議録調製者	書記	清山 智保
会議録署名委員	教育長	妹尾 均
〃	教育長職務代理者	妹尾 恵美